

救出 (The Rescue)

登場人物

コルヌコフ—アナトリ・コルヌコフ将軍、ソコル空軍基地の司令官(サハリン)。1998年1月22日にボリス・エリツィンによってロシアの新空軍司令官に任命された。彼は2002年の1月に引退するまでこの職に従事した。

ゲラシメンコ—空軍中佐、第41戦闘機連隊司令官代理

ノボセレツキ—空軍中佐、スミルニク空軍基地、航空師団参謀部長代理

チトーブニン—航空師団戦闘管制センター飛行発着係

ストロゴフ—将軍、司令官代理、極東軍管区

カメンスキ—将軍、司令官、極東軍管区空軍

次の事は「007の救出」の65ページから68ページ(弱冠の修正と付加を伴う)から引用されています。ロシア語の写しは1993年のICAO(国際民間航空機関)の報告からのものです。解説はバート・シュロスバークによって示されています。

KAL007便の本当の位置である、モネロン島に向かって、007便の降下の数分以内に送られた実際少なくとも2人のソビエトの救助派遣隊がいた。これらの任務はロシアの地上間の遠距離通信の写しに記録され、そしてKAL007便の位置の特異性の見地から、ソビエトの派遣隊の成功を疑う理由はない。救助ヘリコプター、国境警備隊、そしてKGBを伴った最初の任務は命令されて、それはミサイルが当たった丁度21分後、そしてKAL007便が着地または衝突した時ではなく、レーダーの下に行った時の高度0に到達した9分後の18時47分だった。

ノボセレツキ: (18時47分)

まだ日の出は見えないか？

チトーブニン

いいえ、約30分後です。

ノボセレツキ

そこにどんなヘリコプターがいたとしても対応できるように準備せよ。ヘリコプターを救出せよ。



Mi-8 多目的ヘリコプター、「捜索と救助」任務のために使われた型

チトーブニン

救助ですか？

ノボセレツキ

うむ。標的が失われた地域のために用意されている任務がきっとあるだろう。

チトーブニン

了解。これはあなたの SAR「捜索と救助」を通して行われるのですか？

ノボセレツキ

えっ？

チトーブニン

同志中佐、あなたの SARを通してチャイカに任務を割当てて下さい。コムトボ(南サハリンのユジノサハリンスクにおける民間と軍用の空港)は我々の管轄外で、ノボアレクサンドロフスカもそうです。ここでは私達には何もありません。

ノボセレツキ

大変、申し分ない。

チトーブニン

ノボアレクサンドロフスカを準備の出来ている状態にしてください。コムトボもそうです。国境警備隊と KGB はコムトボにいます。

「チャイカ」は極東軍管区 (FEMD) 空軍基地指令責任者のコールサインである。必然的に、この最初の記録された救出任務は、ソビエト極東軍事作戦戦域に対する第 2 の権力である FEMD の命令によってのみ引き起こされ得る。撃墜も 007 便の救出もそれゆえ、地方の決定ではない。

明らかに、サハリン中央部 (戦術的空軍司令部の支配下であり、そして KAL007 の撃墜を保障するように命令されたミグ 23 の基地となっている所である) のスミルニク空軍基地と南サハリン (オシポビッチと彼の SU-15 の基地となっている防空司令部支配下の) におけるソコル空軍基地はどちらも、何の利用できる救助ヘリコプターを持っていなかった。それゆえ、極東軍管区空軍に対しての権力の引き上げは支配地域外であったコムトボの空軍基地を戦闘に巻き込むことを要求された。コムトボはユジノ (南) サハリンスク市にある民間と軍用の空軍基地であった。

第 2 の任務は国境警備隊と、モネロン島付近にいた民間の船を伴った。この任務は 18 時 55 分に命令された。この時間はミサイル衝突の丁度 29 分後で KAL007 便が 0 高度に着いてから 17 分後であった。

(少なくとも一人のソビエトの海軍救助派遣隊が KAL007 便がモネロン島を離れた水面に着陸した前に命令を受けた事は次のことから証明される—救助任務に参加したソビエトの海軍の特殊技官のイズベスチヤにおける証言によると—「私達は航空機が攻撃を受けた事を、そして武器が使われた事を知った時、それがいつ、出来る限り降下するのかを解析し始めた。船は**予想された** (強調) 地域に行くように命令された。何隻かの船は最高速度で一斉にそこに向かった。」

ストロゴフ将軍: (18 時 54 分)

もしもし…もしもし、チトーブニン…お前は… (不快さを持って) 営倉に入れてやる。なんで電話をとらないんだ？

チトーブニン

将軍同志、ここの皆は忙しかったんです。

ストロゴフ

忙しさなんてあるわけない。忙しい！ そんなの無意味だろ？ それで、コルヌコフはどこだ？

チトーブニン

コルヌコフ将軍はここにいます。

ストロゴフ

電話に出させてくれ。

チトーブニン

少々お待ちください。将軍はカメンスキに報告しています、将軍同志。

ここに KAL007 便の墜落とその乗客の救出は地方の司令官によって為されたのではなく、ソビエト軍の最高梯形編成によって為されたということの明らかな証拠がある。

ストロゴフ:(18 時 55 分)

それで、お前に今必要な事は、これらと連絡せよ…(不快さを持って)、水兵、これらの、お前は何を…(不快さを持って)?

チトーブニン

国境警備隊ですか?

ストロゴフ

えっ?

チトーブニン

国境警備隊ですか?

ストロゴフ

うむ、民間の船員だ。

チトーブニン

わかりました。

ストロゴフ

国境警備隊。モネロン島の近くで私達には何の船がある?

もし彼らが民間人なら、すぐそこに彼らを送れ。



ストロゴフの場所の認識とコルヌコフのそれとの一貫性に注目せよ。両方の将軍ともそれを「モネロン島」と具体的に述べている。「モネロン島の側」にすでにいる船はモネロン島に送られる。公海水域の様々な部分における彼らの捜索と救出作戦を行う上でのソビエトの欺きを暴くことと同様に、この写しは第 1 日から続いて、彼らがどこで飛行機が落ちたのか知らなかったというソビエトの主張に嘘を見つけている。この嘘の最初の告発者は、ソビエトの将官級局員の中の部長であるニコラフ・オガルコフ司令官であった。彼は 1983 年 9 月 9 日に報道会見において述べて、「私達は、最初の場所における地点を知らなかったから、どこで KAL007 便が落ちたかの地点について正確な答えは出せなかった。」アメリカ(そしてこの件に関しての世界の残りの国々は)実質的に、また悲劇的にだまされた。どのようにソビエトがアメリカをだましたかの話を知りたいなら、[ここをクリックしてください](#)。



Marshal Nikolai Ogarkov during his September 9, 1983 press conference on the shutdown of KAL 007. Ogarkov gave a good performance, but his remarks were a coverup from beginning to end.

KAL007 便撃墜に関する 1983 年 9 月 9 日の報道機関会議におけるニコライ・オガルコフ司令官。オガルコフは見事な会見を為したが、彼の意見は最初から最後まで隠されていた。

チトーブニン

わかりました。将軍同志。

この 2 回目の記録された、権限を与えられた救助任務はまた、最高権力によって認められたものである。ストロゴフ将軍は直接的に、極東軍管区の司令官であるイワン・モセイビッチ・トレトヤク将軍の下に従属していた。極東作戦戦域の司令官であるウラジーミル・L・ゴブロフ将軍が「侵入者」である航空機が撃ち落とされなければならない事に同意したのは、トレトヤク将軍と共のことであった。

1993 年の ICAO 報告に付け加えられた地上間の連絡の中で、次の会話(話し手は不明)が 18 時 45 分に記録されている。

「武器が使われました。最高レベルで認められた武器です。イワン・モセイビッチがそれを認めました。もしもし。」

「もう一回、言ってくれ。」

「今、ハッキリとあなたの声が聞こえません。」

「彼は命令を下した。もしもし もしもし。」

「はい、はい。」

「イワン・モセイビッチが命令を下した、トレトヤク。」

「了解、了解。」

「武器は彼の命令で使われた。」



イワン・モセイビッチ・トレトヤク将軍

www.peoples.ru の許可で使用しています

「007 の救出」の 114-115 ページから(弱冠の修正を含む)

共和党局員の研究論文「CIA」報告によれば、「特別機密諜報」(米国家安全保障局が傍受した)は次のことを明らかにしている。ソビエトのパイロットは民間航空機はアメリカの RC-135 偵察機の代わりに撃ち落とされたと言い、そして彼らは(司令部責任者)、RC-135 を撃ち落せなく、また今アメリカ人が、アメリカ人を殺したことで自分達を責めること両方に後悔の念を表していた事を撃墜から約 4 時間後、ソビエト防空軍司令部責任者は報告した。

研究論文はどのように、空中を飛んでいる間に、ソビエトのパイロットがアメリカ人が乗客の中にいたという結論を下したのかという事を問うている。水面を飛行機が漂っていたので、飛行機の明確に分かるこぶを見ることによって、1983 年にはボーイング 747 の軍用型はまったくなかったもので、それは撃ち落とされた旅客機だったという結論を彼らは下した。そして彼らは飛行機の尾翼にあった明確に区別できる鳥の紋章—大韓航空によってその当時使われていたシンボル—を見ていただろう。しかし、この事は旅客機の国籍を指し示すことにはならない。ソビエトのパイロットがアメリカ人が殺された事を知り得た唯一の方法は、救出が実際行われていた時の間に彼らがラジオでその情報をもし聞いていたらという結論を研究論文は下していた。

「そう言う訳で、ソビエトのパイロットが何とかして空中からアメリカ人のように KAL007 便の乗客の何人かの国籍を確認できた唯一の方法は、アメリカの諜報機関が傍受しなかった通信可能な緊急の無線電信だったからかもしれないし、ミサイルで撃ち落されて海に不時着した旅客機だったからかもしれないし、救命ボートからかも、またはソビエトの救助ボートだったからかもしれない。」(共和党局員の研究論文「CIA」報告、47 ページ)